

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

T E L 0 9 8 - 8 6 8 - 6 8 9 5
F A X 0 9 8 - 8 6 3 - 1 4 9 5

経営者への活きた言葉

社会的に責任ある企業で働きたい（若者の考え）

フィリップ・コトラー（現代マーケティングの父・米ノースウェスタン大学経営大学院名誉教授）

1. 最近のCEOには新しいポリシーが求められる。まず気候変動や持続可能性に対して何らかのスタンスをとる必要がある。さらに企業が懸命に採用する若者については、仕事と家庭などとのバランスが重要で、仕事一筋ではない。社会的に責任ある企業で働きたいと考えている。経営では今、こうした要素を考えなければならない。
2. 国レベルで私が関心があるのは、スウェーデンやデンマークなど北欧5カ国だ。福祉資本主義にのっとり、企業は世界中で成功裏に事業を展開して利益を上げ、労働組合も強い。生活水準も高い。「全ての国民による生活を」という考え方は、あらゆる国で取り入れるべきだ。
3. 日本は、国連が掲げたSDGs（持続可能な開発目標）を率先して行うべきで、リーダーになれると思う。会社としては収益性はもちろん、その社会や国に影響がある社会問題にしっかりと目を向けないといけない。ステークホルダー資本主義を掲げる会社は、株主資本主義の会社よりもよいパフォーマンスを出すと確信している。5年後にもし、今と全く同じようにビジネスしていれば、廃業してしまうだろう。

（参考：「日経ビジネス」2021年10月18日号）

経営者のための理念・哲学

オーラの形成過程

瀧澤 中（作家・政治史研究家）

1. 私の父はいまから8年前、最期はホスピスに入っていました。その時ホスピスの施設長の方が、「亡くなっていく方との別れ、悲しみを受け入れて仕事を続けていくためには、日頃からよい本を読んだり、先人に学んだりして幅広い教養を身につけておくことが大事だ」とおっしゃっていて、教養にはそういう力があるのだと改めて感銘を受けました。
2. また、人を惹きつけるもの、オーラというものは、「立派な人になりたい」と純粋な思いで努力し続ける人だから持てる。そういうひたむきさが自然とその人の雰囲気、オーラとなって周囲に伝わっていくのじゃないかと思っています。

（参考：「致知」：2021年11月号）

経営者のための社会学

格差是正と気候変動への対策

斎藤 幸平（大阪市立大学大学院准教授）

1. 新型コロナウイルス禍は、格差の拡大に拍車をかけた。雇用の調整弁とされる派遣社員など、非正規雇用を中心に多くの労働者が職を失い、困窮に陥った。コロナ禍以上に深刻な被害をもたらした、さらに多くの弱者を困窮させるのが気候変動だ。今年もドイツで洪水が起り、山火事はトルコ、ギリシャ、米カルフォルニアと世界中で発生している。
2. 今後は食糧危機、水不足に伴う難民化など自然的・人為的要因が絡み世界中で混乱が起こるだろう。今回の新型コロナ禍は、「気候危機の時代のリハーサル」にすぎず、人類は慢性的な緊急事態に突入する。

（参考：「週刊東洋経済」2021年11月6日号）

古典に学ぶ

真の人間の価値ある生活

（解説）いやしくも世に処し身を立てようと志すならば、その職業の何たるを問わず、身分の如何を顧みず、始終自力を本位として道に背かざることに意を専らにし、しかる後に自ら富みかつ榮ゆるの計を怠らざるこそ、真の人間の意義あり価値ある生活という事が出来よう。

（参考：洪沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）